

国家公務員共済組合連合会 宿泊経理
民間企業仮定貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
(資産の部)		
I 流動資産		
現金・預金		2,594,997,835
売掛金	575,933,686	
貸倒引当金	△ 11,180,761	564,752,925
有価証券		1,500,000,000
商品		23,375,285
貯蔵品		169,422,449
前払費用		7,437,415
未収収益		10,123,605
未収金		190,211,262
流動資産合計		5,060,320,776
II 固定資産		
1 有形固定資産		
建物	81,102,176,897	
減価償却累計額	△ 54,401,828,478	26,700,348,419
構築物	4,451,752,564	
減価償却累計額	△ 3,079,776,312	1,371,976,252
車両運搬具	139,114,955	
減価償却累計額	△ 120,042,284	19,072,671
器具備品	4,402,640,481	
減価償却累計額	△ 3,834,027,600	568,612,881
土地		6,091,594,117
建設仮勘定		27,216,369
有形固定資産合計		34,778,820,709
2 無形固定資産		
ソフトウェア		11,116,172
施設利用権		123,228
引湯権		346,500
無形固定資産合計		11,585,900
固定資産合計		34,790,406,609
III 投資その他の資産		
長期未収金	15,510,415	
貸倒引当金	△ 15,510,415	0
敷金保証金		20,031,640
その他の投資		284,554
投資その他の資産合計		20,316,194
資産合計		39,871,043,579
(負債の部)		
I 流動負債		
一年内返済予定長期借入金		3,277,000,000
未払金		1,569,456,026
未払費用		223,617,439
未払住民税		2,582,025
未払消費税等		65,215,886
前受金		105,356,374
預り金		94,588,912
引当金		
賞与引当金	126,223,782	126,223,782
その他流動負債		9,215,998
流動負債合計		5,473,256,442
II 固定負債		
長期借入金		16,851,516,853
引当金		
退職給付引当金	2,883,045,495	2,883,045,495
固定負債合計		19,734,562,348
負債合計		25,207,818,790
(純資産の部)		
I 基本金		
基本金		468,239
基本金合計		468,239
II 剰余金		
利益剰余金		
別途積立金	3,102,865,478	
欠損金補てん積立金	2,531,886,852	
積立金	2,536,407,938	
当期利益金	6,491,596,282	14,662,756,550
剰余金合計		14,662,756,550
純資産合計		14,663,224,789
負債純資産合計		39,871,043,579

国家公務員共済組合連合会 宿泊経理

民間企業仮定損益計算書

自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日

(単位：円)

科目	金額	
経常収益		
施設収入		16,813,771,841
商品売上		1,011,535,405
保健経理より受入		2,612,878,118
保健経理より相互受入		512,252,895
雑収入		92,101,952
事業外収益		
受取利息	613,148	
有価証券利息	902,465	
事業外収益合計		1,515,613
経常収益合計		21,044,055,824
経常費用		
飲食材料費		2,645,961,452
商品仕入		715,409,412
雑損		5,506,474
一般管理費		
一般管理費	13,468,122,798	
賞与引当金繰入	126,223,782	
退職給付費用	167,639,322	
減価償却費	2,546,594,937	
一般管理費合計		16,308,580,839
引当金(等)繰入		
貸倒引当金繰入	4,246	
引当金(等)繰入合計		4,246
事業外費用		
支払利息	62,798,191	
事業外費用合計		62,798,191
経常費用合計		19,738,260,614
経常利益		1,305,795,210
特別利益		
固定資産売却益		65,291,503
保健経理より特別受入		5,217,521,788
その他の特別利益		2,760,400
特別利益合計		5,285,573,691
特別損失		
固定資産除却損		97,190,594
特別損失合計		97,190,594
税引前当期利益金		6,494,178,307
住民税		2,582,025
当期利益金		6,491,596,282

国家公務員共済組合連合会 宿泊経理

キャッシュ・フロー計算書

自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日

(単位：円)

科目	金額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期利益金	6,494,178,307
減価償却費	2,546,594,937
貸倒引当金の増減額	△ 3,325,182
賞与引当金の増減額	△ 4,333,763
退職給付引当金の増減額	△ 74,146,778
受取利息及び受取配当金	△ 613,148
支払利息	62,798,191
固定資産売却益	△ 65,291,503
固定資産除却損	97,190,594
売上債権の増減額	△ 77,467,506
たな卸資産の増減額	△ 29,719,674
未収金の増減額	△ 96,399,201
未収収益の増減額	△ 979,456
未払金の増減額	66,577,130
未払費用の増減額	△ 8,233,243
未払消費税等の増減額	△ 28,959,176
その他	36,382,207
小計	8,914,252,736
利息及び配当の受取額	537,870
利息の支払額	△ 64,264,024
住民税の支払額	△ 2,652,500
業務活動によるキャッシュ・フロー	8,847,874,082
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 1,700,482,392
有形固定資産の売却による収入	234,708,497
無形固定資産の取得による支出	△ 2,831,729
投資有価証券の取得による支出	△ 1,500,000,000
その他の投資による支出	△ 581,600
その他の投資による収入	812,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,968,374,374
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△ 5,753,000,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,753,000,000
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0
V 現金及び現金同等物の増減額	126,499,708
VI 現金及び現金同等物期首残高	2,468,498,127
VII 現金及び現金同等物期末残高	2,594,997,835

重要な会計方針等 宿泊経理

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品、貯蔵品 … 先入先出法による原価法によっております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法によっております。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法の規定する方法と同一の基準によっております。

(2) 無形固定資産

定額法によっております。なお、耐用年数については、法人税法の規定する方法と同一の基準によっております。ただし、ソフトウェア（連合会利用分）については、連合会内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による見積額を、貸倒懸念債権等特定債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

職員に対して支給する賞与（期末手当及び勤勉手当）の支出に充てるため、支給見込額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

役職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる金額を計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務債務については、各事業年度の発生時の職員の平均残存勤務期間内の一定の年数（9年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生した事業年度より費用処理しております。

退職給付引当金に関する事項は以下の通りであります。

a) 採用している退職給付制度の概要

当連合会は確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けております。

b) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表	
退職給付債務の期首残高	2,972,161,549 円
勤務費用	169,299,851 円
利息費用	44,407,633 円
数理計算上の差異の発生額	△573,070,403 円
退職給付の支払額	△241,786,100 円
過去勤務費用の発生額	△11,653,150 円
<hr/>	
退職給付債務の期末残高	2,359,359,380 円
c) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整額	
非積立型制度の退職給付債務	2,359,359,380 円
<hr/>	
未積立退職給付債務	2,359,359,380 円
未認識数理計算上の差異	534,596,708 円
未認識過去勤務費用	△10,910,593 円
<hr/>	
貸借対照表に計上された負債	2,883,045,495 円
退職給付引当金	2,883,045,495 円
<hr/>	
貸借対照表に計上された負債	2,883,045,495 円
d) 退職給付費用及びその内訳項目の金額	
勤務費用	169,299,851 円
利息費用	44,407,633 円
数理計算上の差異の費用処理額	△60,172,159 円
過去勤務費用の費用処理額	14,103,997 円
<hr/>	
確定給付制度に係る退職給付費用	167,639,322 円
e) 数理計算上の計算基礎に関する事項	
当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎	
割引率 1.5%	

4. その他の重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込み方式によっております。

5. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

資金運用については短期的な預金等に限定しております。また資金調達については長期経理からの借入によっております。

借入金の使途は、設備投資であります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成 26 年 3 月 31 日における民間企業仮定貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りであります。

(単位：円)

	民間企業仮定 貸借対照表計上額	時価	差額
現金・預金	2,594,997,835	2,594,997,835	—
長期借入金	(20,128,516,853)	(20,112,674,703)	△15,842,150

(*) 負債に計上されているものについては、() で示しております。

(注) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

現金・預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

長期借入金（一年以内返済予定の長期借入金を含む）

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

6. 資産除去債務関係

民間企業仮定貸借対照表に計上しているもの以外の資産除去債務

当連合会は、国有財産等につき、退去時における原状回復義務を有しているが、当該債務に関連する貸借資産の使用期間が明確でなく、退去・移転等の予定もされていないことから、資産除去債務を合理的に見積ることができません。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。

7. キャッシュ・フロー計算書に関する事項

(1) キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から満期日又は償還日まで期間が3ヶ月以内の流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない短期的な投資からなっております。

(2) 現金及び現金同等物の期末残高と民間企業仮定貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金・預金	2,594,997,835 円
現金及び現金同等物	2,594,997,835 円

8. 機会費用の計上基準

- (1) 国有財産等の無償使用に係る機会費用の算出方法
国有財産の貸付料算定基準に基づき算定しております。
- (2) 公務員からの出向職員に係る機会費用の対象者数
1名
- (3) その他
該当事項はありません。

9. 行政コスト計算財務書類を作成する日までに発生した重要な後発事象
該当事項はありません。

10. 重要な会計方針の変更
該当事項はありません。